

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title, written on a rectangular label affixed to the book cover.

Inches

1

2

3

4

5

A

R

C



八雲の契り序

世は何の色の恋と思ひすまじり一葉くも神の出雲の國の新しき宅
に重垣けし書こみ入の軒まじり人としらりし魂をた外れあ
ふ飛も魂のつらりとくも色も雲とみかたのこころに海世葉
まじりしと極し漂しし身のたをいせしまじり子とあ
言をすししかたしつらも下長たのもしし当世のあや山田釘の
けし伽羅の香たる何とあしきまき分別にまじりそぢ
のけしけし楊梅の上の月琵琶の外の雪ゆき痛ふ春風だもやけ
柳の火影果よあまの千鳥年れ雨みり打もあまの室の諸人を
ゆわ有耶無耶に説二服の煙草の烟を消し夜濡れを思
ひし明の鳥茶の印もすの雨は昨日様の粒も春出まはあ
かせのこころはあまのよ

まじり袖の透れよせ唐船の月目元々露を宿したる恋あは口説
かきし恋慕愛着の涙の緋を結し一夜の情は三年苦いあま
す連千束れ巻の錦木一夜の新枕見すぞあまのよ
恋誠あれも偽起言折言紙情の眺みピカリ雷よあまの抱
しよのそまよめし情のた中恋の樂屋を飾りけし喜味よの
寐くたも髪玉のえまじりよ毛青楊梅の横に粹るよあま
情のつ蓮葉の書と原ふ心もよ一葉の平内文の中まよも身を
まじり録すまじりのおの敷洛陽の紙價を狂ひまじりあまの
見ぬ女護の島まじり神のせし秋津島根に女あまの男味も
うまじりあまのいんぞ女金盛の世にあまのよ

ねまじり
4





Inches 1 2 3 4 5 A R C



Inches 1 2 3 4 5 A R I C





Inches 1 2 3 4 5 A R C
Color calibration bar with yellow, cyan, magenta, and black segments.











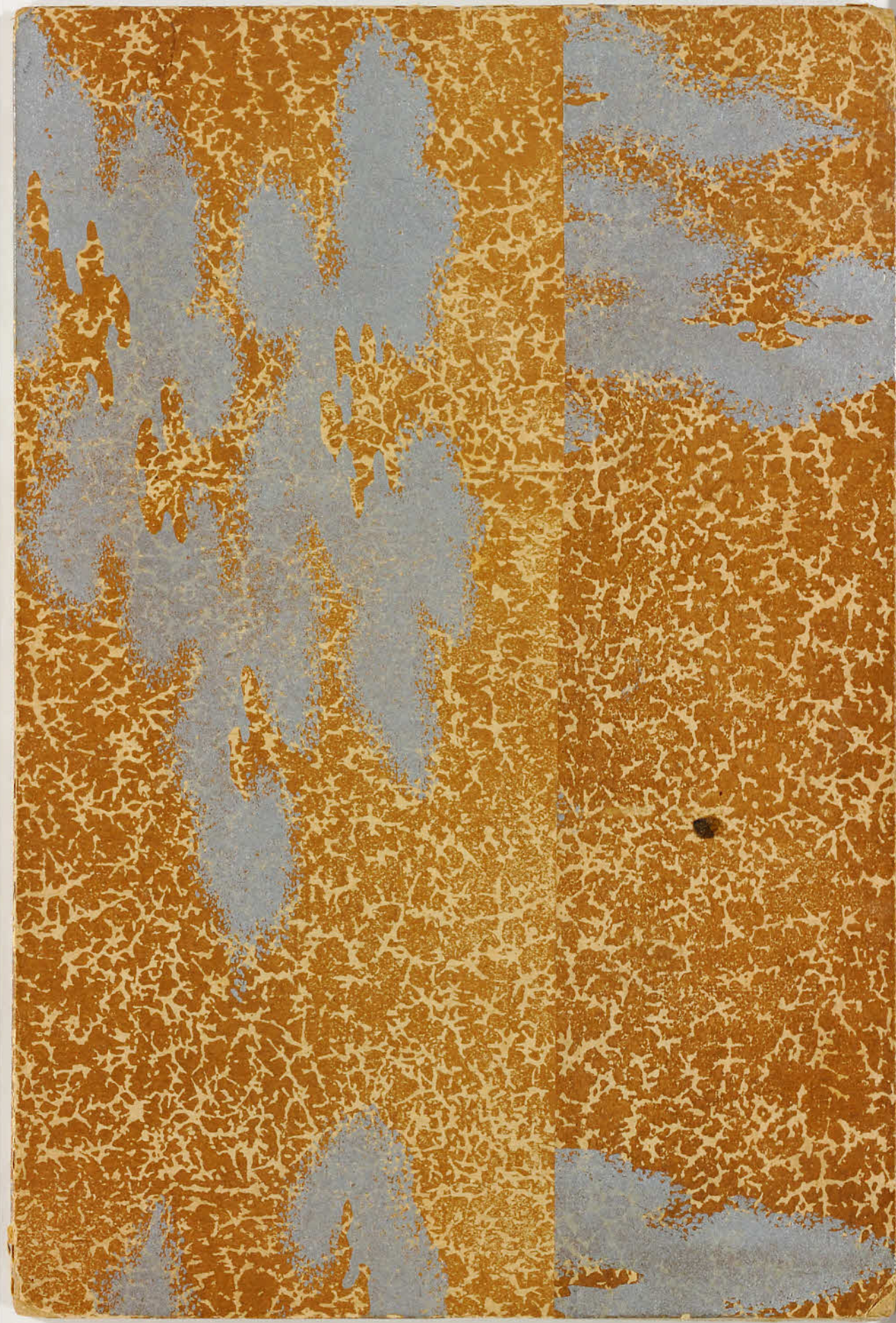


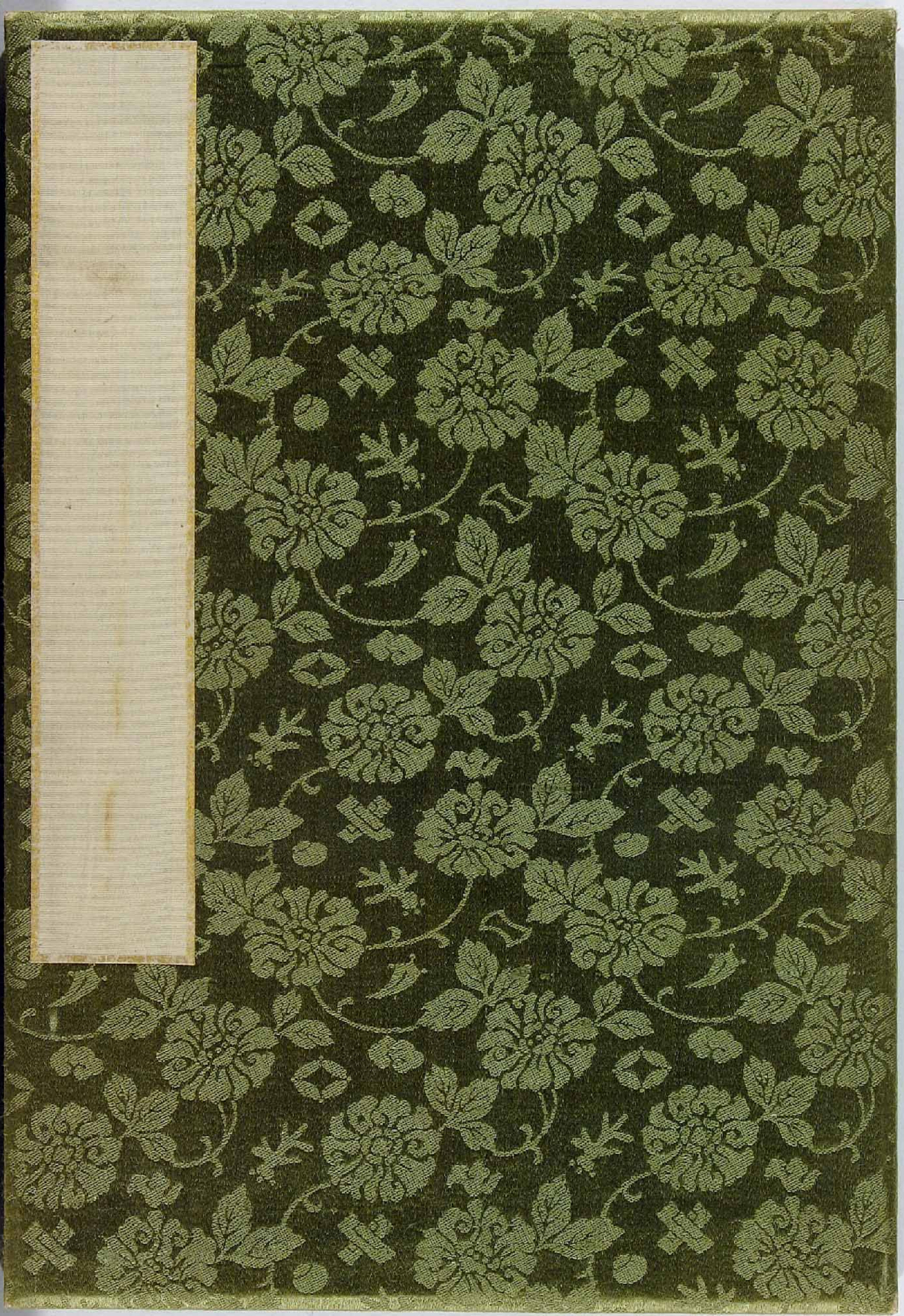


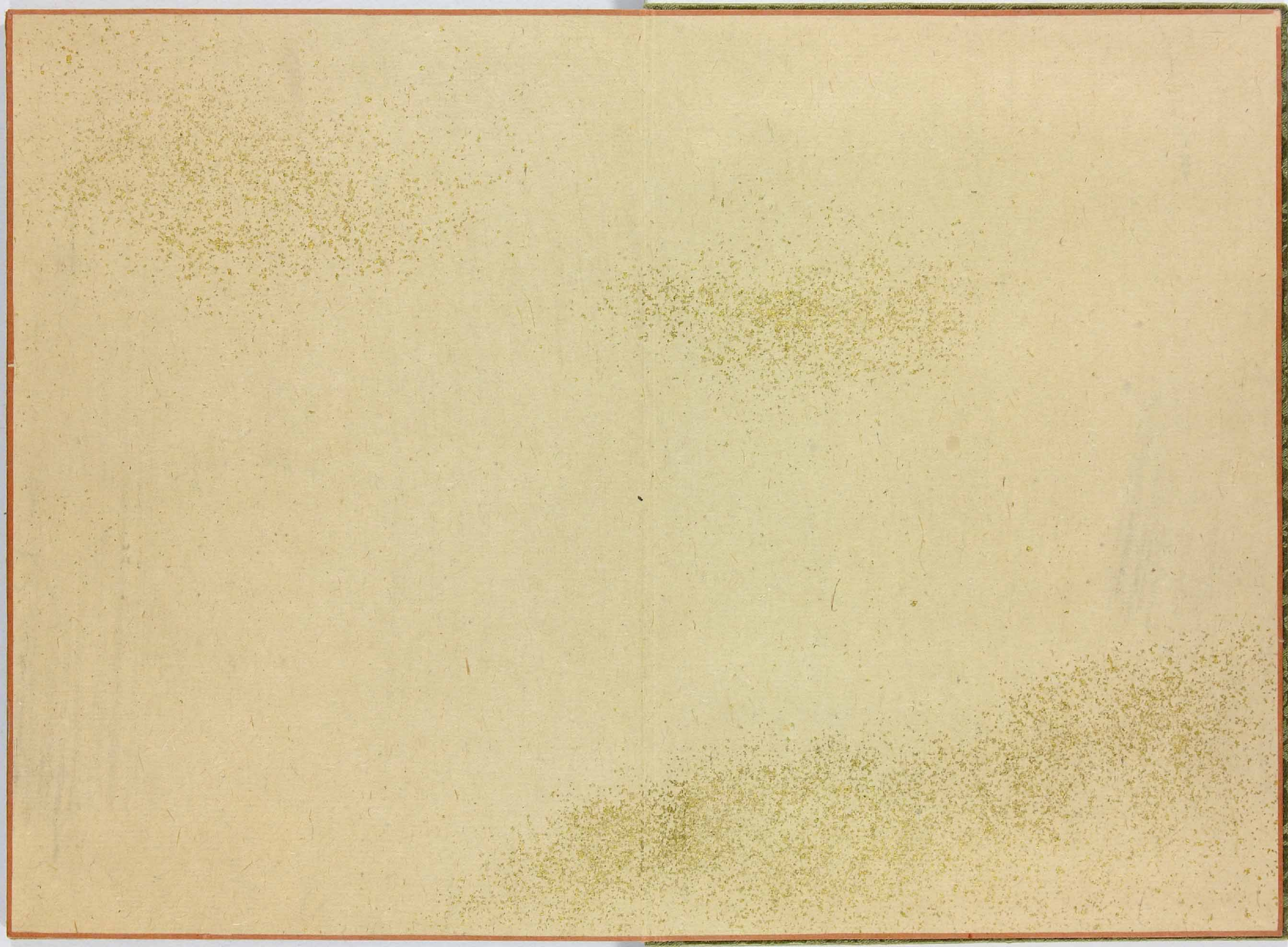
Inches 1 2 3 4 5 A R C













蔵書























